



池田名誉会長

光の言葉
幸福の曲

使命の花を！ 君は君らしく

梅雨の時期、見る人の目を楽しませるのがアジサイ。古くは万葉集にもうたわれる。写真は2009年(平成21年)、池田名誉会長が東京・新宿区内で撮った1枚である。

アジサイの花の色は、土壌や開花後の日数によって変わる。ピンク、紫、青に群れ

咲く様は、励まし合いながら、それぞれの使命の花を咲かせゆく友の姿にも似る。今、婦人部総会がたけなわ。この少人数の屈託のない語らいの中に、幸福の花園は広がっていく。 ※トルストイの言葉は『レフ・トルストイ全集第78巻』テラ出版社(ロシア語)



アメリカ・フロリダ自然文化センターを訪れた池田名誉会長が、出迎えた友を温かく激励。『一人ももれなく人生の勝利者に』との思いを込めて（1996年6月）

他人と自分を比較してばかりいる
小さな生き方ではなく、
彼には彼の使命がある、
われにはわれの使命があるとの
広い心に立って、
きのうよりはきょう、
きょうよりはあすと、
一歩一歩、
進歩と向上の坂を

上つていく力こそ、
真実の若さではないだろうか。
その人には、
その人にしかできない
使命がある。
平凡であつていい。
「自分らしく」輝くのだ。
大切なのは、
「私は自分にできることを

やりきった！」と
言えるかどうかである。

開かれた心で打って出て、
多彩な人々と
生き生きと対話し交流する。
他者の生命を尊敬し、
共に学び合つてこそ、
互いの個性がより光り輝いて、
創造の花を
咲かせていくことができる。

大いなる人生には

大いなる悩みがある。

大いなる悩みがあるからこそ、
大いなる境涯が開かれるのだ。

トルストイは、

「人間は

本来の使命に目覚めた時、

あらゆる悩みを解決できる」

と結論している。

人は誰もが、それぞれに、

かけがえのない使命を持つて

生まれ出でた。

その使命を深く自覚できれば、

それだけ心は深くなる。

その使命に強く徹すれば、

それだけ生命は強くなるのだ。